

委員会	治田小学校区	議会答弁
議会全体及び 総務文教常任委員会	市報のタイトルについて、なぜローマ字にしてみましたのか。	○市の回答では「市民アンケートの結果として、市報は比較的若い人が読んでいないことが分かったため」という回答で、市長の発案でタイトルのローマ字表記が決まり、それに対して「市民からはクレームなどは来ていない」ということでした。
	5月に全戸配布になった防災ガイドブックの内容は素晴らしいが、ただ配布しただけでは意味がない。台風19号災害で千曲市始まって以来の甚大な被害を受け、初めての大規模な避難を経験して多くの問題があったのだから、説明会や勉強会をやって今後の具体的な避難行動に繋げるべきだ。	○防災ガイドブックについては、地域で説明会・研修会を行う予定ですが、コロナ禍で少し遅れると思います。
	稲荷山温泉ホテル杏泉閣が倒産して1年。杏泉閣を防災の拠点としても何とか市で活用してもらえないか。市長にも要望している。	○市民要望について、皆さんにきちんと回答をするよう議会から申し入れていきます。
	大田原は過疎の村ですが、その公民館について、市では令和8年までに地元へ譲渡の予定と聞いていますが、大田原にとって災害時には大事な避難場所ですのでよく検討していただきたい。	○千曲市では13%の(公共施設)縮減目標で計画を立て、今後は個別の計画として各地域の皆様との話し合いが持たれていきますので、避難場所を含めて地元との丁寧な合意形成がされればと思います。
	大田原は土砂災害・地震災害マップで多くの民家が被災するようになっていますが、高齢化が増々進む中でどうやって避難できるのか見当もつかない状況で、公民館の地元譲渡など現実的ではないと思うし、あと20年たったらどうなるか、議会でも地域の実情をもっとよく見て国の制度だからでなく、大事なことは議会がもっと住民に寄り添った議論をして市長に伝えてもらいたい。	○もっともなご意見です。かなりの議論が必要だと思いました。今の計画は13%の縮減目標で数字の上で追いかけてきたもので、他の地域でも様々なご意見が出てきています。大田原においても特異な地域事情がありますので、地元の皆様の声をよく聞き、様々な対策をとった上で進めるよう議会として委員会を通して発言をまいります。 ○他の地域でも高齢化社会になり、区役員の選任が限界になっているとも聞いています。もっと若い人たちが千曲市に根付いていけるような地域づくりが必要だと考えます。議会としてもしっかり取り組んでまいります。
福祉環境常任委員会	71区の区長にも女性はいませんので、今後男女共同参画の環境づくりを進めてもらいたい。	○男女共同参画については、市でも時間は掛かってもしっかり取り組んでまいります。 5年後に職員女性管理職登用割合20%や審議会等女性委員参画目標40%など、1年ごとに進捗状況報告を市長が行うことになっております。なお基本は、管理職候補となり得る職員の人材育成及び能力開発を、男女を問わず一層推進していくことにあります。 ⇒委員会として、計画の進捗をチェックして参ります。
	ゴミ袋購入チケットを廃止すべきとの質問について、チケット制度はゴミの減量化が目的なのだから廃止はおかしい。	○ゴミ減量のためのチケットですが、環境審議会に諮って他市の状況も踏まえて議論を進めています。 ⇒○3月議会の質問、委員会の審議でチケットをなくしてほしいという住民の声もあり、市民の声を聴くためのアンケートを提案しました。 ○9月議会委員会：アンケートの6割がチケット不要の結果をもとに、環境審議会の皆さんで協議され、7月には廃止の方向で良いという結論が出されました。今後、市民に周知・理解をいただく情報発信をするという報告を受けました。